

対象年度		令和 6年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		地域子育て支援センター運営事業						予算事業名		地域子育て支援センター運営事業費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	子ども・子育て支援法					
				03	02	04	22	経常経費	根拠法令					
総合計画体系		みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指そう 未来を担う子どもを育む環境づくり 子育て家庭への支援						事業の区分		主要事業				
								担当課係等		子ども福祉課 保育係				
		事業期間		継続 (年度～ 年度)										
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
・孤立しがちな育児を地域とともに子育てできる環境とする。 ・子育て関連の情報発信や子育て相談体制の充実を図ることにより、子育て家庭の育児負担を軽減する。							平成17年に開設。少子化や核家族化も進行、地域社会の変化により、地域子育て支援拠点事業を推進（平成25から基金事業） 平成26年4月1日より子ども・子育て支援事業として国が推進している。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
結城市子育て支援センター（公立）の運営 開設日 月曜日～土曜日（祝日、年末年始除く） 開設時間 月曜日 9：00～16：00 火曜日～土曜日 9：00～16：30							未就学児及びその保護者 【事業をとりまく環境の変化】 核家族化の増加や地域の人間関係の希薄化により育児に関する相談相手が減少している。 保護者のニーズに合わせた一時預かりの需要が高まっている。							
【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】						
・子育て支援の情報提供 ・子育てに関する相談事業 ・親子で参加する活動、イベントの開催 ・子育てサークルへの支援 ・一時預かり事業 ・備品購入 対面式お散歩車 ・玩具一式購入				・子育て支援の情報提供 ・子育てに関する相談事業 ・親子で参加する活動、イベントの開催 ・子育てサークルへの支援 ・一時預かり事業 ・備品購入 おむつ交換台 ・玩具一式購入				・子育て支援の情報提供 ・子育てに関する相談事業 ・親子で参加する活動、イベントの開催 ・子育てサークルへの支援 ・一時預かり事業 ・玩具一式購入						
■事業費														
				R04年度		R05年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	2,446	2,391							
	県		支	出	金	2,446	2,391							
	地		方		債	0	0							
	そ		の		他	0	0							
	一		般	財	源	2,447	2,390							
歳 入 計 (千 円)				7,339		7,172								
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)				金額 (千円)		金額 (千円)							
	01	報酬			5,144		5,008							
	03	職員手当等			914		1,002							
	07	報償費			109		200							
	08	旅費			87		91							
	10	需用費			748		591							
	11	役務費			82		85							
	12	委託料			51		74							
	13	使用料及び賃借料			40		13							
	17	備品購入費			164		101							
	18	負担金補助及び交付金			0		7							
歳 出 計 (千 円) (A)				7,339		7,172								
伸 び 率 (%)						-2.27								
備 考	総合計画 45ページ 予算書 103ページ													

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	企画遊び	回	目標	45.00	80.00	80.00
	産後も子育て支援センターを気軽に利用できるよう産前からのケア企画も催した。		実績	77.00	0.00	0.00
	サークル数	件	目標	1.00	1.00	1.00
	ぽぽクラブ		実績	1.00	0.00	0.00
成果 指標	登録者数	人	目標	500.00	700.00	700.00
			実績	514.00	0.00	0.00
	相談件数	件	目標	1,000.00	2,000.00	2,000.00
	新型コロナウイルス感染症による臨時休所もなく、子育て支援センターを利用中に相談できる保護者が増えた。		実績	1,387.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	核家族世帯の増加や地域の人間関係の希薄化により育児に関する相談相手が減少している中で、当センターは相談窓口や情報交換の場の提供ができる。インターネット上の情報だけではなく、乳幼児の様子を看ながら直接話ができることが安心の材料となっている。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	民間施設でも可能。
	手段の妥当性	A 妥当である	児童及び保護者への子育て支援情報提供や相談窓口を行う場所として妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	地域子育て支援拠点としての役割は大きいですが、保育所の保育士不足になる側面もある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	受け入れ制限はない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	出生数の低下により登録者数は減少しているが企画の参加率や参加者の声では成果の向上がみられる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	新型コロナウイルス感染症の感染拡大する中であっても、臨時休所や企画の中止等はなく予定通り実施した。企画の参加や利用者のニーズも高く、今までの感染対策や衛生面を配慮しながら実施できた。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、人とのつながりや場所が断たれ孤独に育児をしなければならない状況であったが、臨時休所をすることもなくなった事で、相談できる場所の提供や同じ悩みを打ち明けられる企画の実施ができるようになったことで需要が増えている。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
産前からの支援をバックアップし、産後の子育て環境がよりよくなるよう企画等案内を充実させていく。子育て支援センターでの一時預かりについても、需要が高まっているため継続して実施していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☒ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 子育て支援センターは保護者の育児に対する不安感や負担感の軽減や孤立化を防ぐため、子育て支援拠点としての役割が重要になっている。R4.10月から開始した一時預かり事業や相談支援事業などの機能を強化していく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。	